

全国は一つ

比例650万票以上の得票で5議席確保を 参院選活動交流ニュース

No.9 2010年4月16日 日本共産党国会議員団東海ブロック事務所 名古屋市中区新栄三丁目12-27 (電話) 052-264-0833 (FAX) 052-264-0850

演説会に320人が参加 岐阜・高山 各界へ手紙300通、1300人に声かけ



岐阜県飛騨地区委員会は11日、高山市で井上さとし参議院議員、かわえ明美比例候補を迎えた演説会を開き、320人が参加しました。普段の演説会の1.5

倍、2008年夏に市田書記局長を迎えた演説会に次ぐ参加者となりました。

地区委員会は案内ビラ2万枚、招待券1.5万枚、ポスター600枚を作成、タテ看板30本を立て、町内会長、議員、農業委員、民生委員、各種団体などへ300通の案内を郵送して、1300人に声をかけて対話してきました。

井上議員は「永田町では小沢さんのゼネコン、鳩山さんのマザコンと話題になっている」と批判。参院選勝利の意義と政治を変える展望を語りました。

かわえ候補も党にたいする疑問にも答えて「日本共産党は、貧困で苦しんでいる人たちにしっかりと心を寄せてがんばっています」と訴えました。

林業も大企業の犠牲に 森林組合と懇談 三重・中野候補

三重県の中野候補は、ヒノキの産地、尾鷲市の「森林組合おわせ」を訪問し、組合長らと懇談しました。

懇談で常務理事は、「尾鷲の林業は400年前からはじまり、人工林の90%がヒノキ。木材価格は昔の10分の1になった」と話しました。

組合長は、その木材価格を押し下げる最大の要因になっている輸入木材について、「日本の大手商社が100億円を投資して、ロシアに四国の1.3倍の面積を保有して、そこから輸入している」と訴え、大企業の横暴に苦しめられているのが労働者、中小企業だけではないことが明らかにされました。

また常務理事は、「林業は50年サイクルで動く。国は民主党政権になっても、2年とか暫定措置とかいうやり方で長続きしない。山の仕事は人が必要。人を大切にしたい政策であるべきだ」と語りました。

全国森林組合大会で志位委員長があいさつしたことに対し組合長から、「立派なあいさつをいただいてありがとうございました」とお礼が述べられ、組合

大会が「特定政党」から「全政党」参加になったことに対し、「その方がよいと思う。一致できるところでやった方がいい」と語られました。

36世帯の集落でつどい 三重・亀山

三重県・亀山東支部は15日、棚田100選のひとつ、「坂本棚田」でも有名な地域で「市政を語る会」を開き、かわえ比例候補、中野たけし選挙区候補が参加。36世帯の小さな集落で12人が集まりました。

参加者から鹿の被害について、「せっかく田植えをしても食べられてしまう」「車にぶつかってきた」など次々に訴えられました。「市や東海農政局、民主党の国会議員も話を聞くだけで策がない」と不満の声が出され、共産党の尽力が要請されました。

支部は、この間、党員や読者のあるなしにかかわらず、各地域でつどいを開こうと、「政策と計画」で位置づけて開いてきました。このなかで、市議が住民から「うちの地域でも集まりを開いてほしい」と声をかけられ、自治会長らが準備してくれて開いたこともあり、13日の「全国都道府県委員長、地方議員・候補者会議」でも紹介されました。

4月19日(月)東海ブロックいっせい宣伝の成功を

岐阜県委員会は独自にニュースを発行して、25日の大演説会成功とあわせて駅頭、路地、スーパー前などでの宣伝、対話、党勢拡大を呼びかけ。愛知県委員会は「史上最大の規模で成功させよう」と議員、候補者、機関先頭に全支部でのとりくみを呼びかけています。